

# ゲヴァントハウス・バッハ・ オーケストラ

## Bachorchester des Gewandhauses zu Leipzig

J. S. バッハがその後半生の 27 年間、聖トーマス教会のカントール(音楽監督)として過ごし、幾多の傑作を生みだした地、ライプツィヒ。このバッハの伝統が現代もなお生き続けている町に、創立 250 周年を迎えたオーケストラ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団がある。その名はメンデルスゾーンをはじめ、ニキシュ、フルトヴェングラー、ワルターといった名指揮者の名とともに音楽史上に燦然と輝いている。

1962 年、ゲヴァントハウス管弦楽団の常任指揮者フランツ・コンヴィチュニーは、第 1 コンサートマスターのゲルハルト・ボッセをリーダーとするトップ奏者を集め、バッハを演奏する小編成のオーケストラを組織した。最初の演奏旅行中にコンヴィチュニーが客死した後、ボッセの指揮と独奏による固定メンバーでバッハを演奏する団体として再出発したのがゲヴァントハウス・バッハ・オーケストラである。この団体は、バッハの作品をその様式に忠実に演奏し、伝統を新しい生命で満たすことを目指している。

オリジナル楽器による演奏も定着しつつあるが、この団体は当初から、その方法をとっていない。楽器という問題以前に、彼らの中には、旧東独という政治体制を超越して現在まで連綿と続いてきたライプツィヒのバッハ演奏の伝統が、脈々と息づいているのである。

1987 年からは ゲヴァントハウス管弦楽団の第 1 コンサートマスター、クリスティアン・フンケが指揮・独奏者を務めている。日本には 1978 年に初来日して以来、今回が 2 年ぶり 9 度目となる。

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092